

## 日本地学教育学会 2020 年度第 5 回 常務委員会議事録

日 時：2021 年 7 月 29 日（木）18 時 00 分～20 時 15 分

場 所：Cisco Webex Meetings による web 会議

出席者：久田健一郎，伊藤 孝，小関純一，小森次郎，上栗伸一，宮下 治，中林俊明，西浦慎悟，澤口 隆，菅原久誠，高橋 修，戸倉則正，内記昭彦，林 慶一，廣木義久，南島正重，吉本直弘，米澤正弘，渡来めぐみ（計 19 名）

議 題：

### 1. 前回議事録の確認

### 2. 2021 年度役員選挙結果について（宮下）

日本地学教育学会役員選挙の結果，評議員（任期平成 2021 年度～2023 年度）：境 智洋（北海道東北支部）・五島政一（関東支部）・松森靖夫（関東支部）・米澤正弘（関東支部）・戸倉則正（中部支部）・澁江靖弘（近畿支部）・岡本弥彦（中国四国支部）・三次徳二（九州沖縄支部）および監事（任期 2021 年度～2022 年度）：藤本光一郎（東京）が選出されたことが選挙管理委員会から報告され，承認された。

### 3. 2021 年度評議員会・総会および東京大会について（宮下・澤口）

宮下副会長・東京大会実行委員長，澤口副委員長により，2021 年度第 75 回全国大会東京大会の進捗状況についての説明があった。開催期間は 2021 年 8 月 21 日（土）～8 月 23 日（月）。大会テーマ『変動する地球に生きるための地学教育』。記念講演，ジュニアセッション，巡検，その他が例年通り予定されているが，すべてオンラインでの実施となった。評議員会は大会前日の 8 月 20 日 17 時から，総会は大会初日の 8 月 21 日 13 時からやはりオンラインで開催する。

また，次年度（2022 年度）第 76 回全国大会島根大会の現在までの進捗状況についてもあわせて報告があった。島根大会は，久田会長が大会会長，松本副会長が大会実行委員長として 2022 年 8 月 21 日（日）～25 日（木）の期間で開催される，IX GeoSciEd2022 島根大会と併行して開催される。講演を学会会員が横断的に参加することを可能とする方向性もあらためて確認された。

### 4. 地学教育功労賞・渡部景隆奨励賞・論文賞選考について（上栗）

本年度，地学教育功労賞および渡部景隆奨励賞については推薦が無く，該当者無しとなった。また，論文賞については，「地学教育」4 号の発刊が遅れているため（8 月中旬予定），4 号発刊後，次回（9/10），あるいは次々回（11 月）の常務委員会までには，審査委員会から結果をいただく予定である。また，その選考結果については，ニューズレターおよび「みんなの地学」で先んじて公表し，表彰については次年度の表彰とともに島根大会で行われる予定である。

### 5. 支部活性化について（継続審議）（伊藤・菅原・小森）

伊藤副会長、小森、菅原両委員からなるワーキンググループにより、常務委員会・関東支部で行われる試行イベント「日本全国ジオパークめぐり（仮題）」の企画の説明があった。日本地学教育学会の会員に限らず一般に広く参加を募って開催すること、また、ジオパーク（萩ジオパーク）との連携を図り、web 巡検の方法やジオパークの魅力を紹介することなどの主旨内容が説明された。日程については再考し検討する。また費用についても支部活動費での執行が認められた。

#### 6. 2020 年度事業報告（案）および会計報告（案）について（澤口・中林）

2020 年度事業報告（案）および会計報告（案）について、庶務および会計から説明があり、それぞれ原案が承認された。

#### 7. 2021 年度事業計画（案）および会計予算（案）について（澤口・中林）

2021 年度事業計画（案）および会計予算（案）について、庶務および会計から説明があり、それぞれ原案が承認された。

#### 8. 入会者・退会者について（中林）

入会者：桐生和樹・濱中 望・井上 康・永沢亜矢子・土門直子・西澤 輝・江川 宣・株式会社東方書店

退会者：立石 隆・中川清隆・町田伸一・三戸洋之・尾崎充雄・是永 浩・里 嘉千茂・日向宏伸・伊原美咲・澤畑優理恵・平野まい・秋山翔希・(株)内山書店輸出部

\*正会員 416, 購読有料会員 22, 購読無料会員 24, 学生 8, 在外 0, シニア会員 59, 名誉 3 : 合計 532.

また、長期会費滞納者に関して、最終的な案内を送付することが承認された。

#### 9. その他

##### 1) 「J-STAGE」について

学会誌「地学教育」がオンライン化されてしばらくたつが、どのくらいの頻度でアクセスしているか、アクセスは面倒ではないかなど、電子化に関する使用感のアンケートを行うことが検討された。

#### 報 告 :

##### 1. 各種委員会報告

##### 1) 「地学教育」編集委員会（西浦）

西浦編集委員長から「地学教育」第 73 巻第 4 号、第 74 巻第 1 号についての進捗状況が報告され、第 73 巻第 4 号は 8 月中には J-Stage 公開予定、第 74 巻第 1 号は現在編集中と報告された。審査中の投稿論文（2021/7/29 現在）は、計 27 件（原著論文 18, 資料論文 7, 総説 1, 解説 1）。

また、「地学教育」誌の J-Stage でのアクセスコード変更および冊子体の購入希望の会員向けの連絡は、会費の請求と同時に、近日中に学会事務局から行うという報告があ

った。

2) 「みんなの地学」編集委員会（廣木）

廣木「みんなの地学」編集委員長より、以下の4件について報告があった。

①「みんなの地学」編集委員会の委員について、委員全員もう1年任期を継続する旨報告があり、承諾された。

②「みんなの地学」第2巻の残部について、第1号と同様に、広報用に配布することが報告された。新入会員（中林）、メーリングリスト等による配布希望者（全員）、ジオパーク教育部会（菅原）、イベントでの配布、関連学会等への配布などが検討された。なお、配布の手配は廣木編集委員長が担当し、発送は事務局が行う。

③第3号のテーマについて広く公募する。

④大会、支部イベント等の報告記事の投稿依頼。

2. その他

1) 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）について（渡来）

教科「理科」関連学会協議会（CSERS）では、5月に実施したシンポジウムの総括を行った。シンポジストとして、本学会からは、小森委員と吉本委員にご尽力いただいた。

以下、各学会から寄せられた感想・意見である。

「講演者のバランスが取れていて、アンケートの感想からみても評判が良かった」

「吉本先生がいらしたこともあり、近畿地方からの参加者が多く、オンライン開催のメリットを感じた」

「配信担当の寺前先生が、スタジオのようなセットを組んでいらっしゃるなど、準備がしっかりなされていた」

「シンポジウムの成功で終わりというのも少しもったいないのではないか。これを足掛かりにCSERSとしての取り組みや各学会への話題提供などを行ってはどうか」

\*次回、2021年度第6回常務委員会9月10日（金）開催。